

ワイワイプラン策定に向けた課題整理のために

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援 の項について

送迎ステーション 駅の近くや駅ビルに保育施設

保護者の利便性と、子どもの生活環境を考え合わせるとき、様々な課題が出る。
園児の移動・送迎に伴う交通手段とリスクをどのように考えるか。
保護者と保育者とのコミュニケーションをどのようにするかが、課題。

保育の質 民営化され、若い職員が多い、保育の質の低下を防ぐ

*なぜ若いとダメと思われるのか。

実際に質は低下しているのか…その根拠はどのような所にあるのか検証が必要。

どのような問題が生じているのか、具体的に提示してほしい。

風評だけで論じるべきではない。

*保育士の確保について

公立・民設・公設民営 それぞれに支弁される運営費に違いがある。

人材を確保し、安定的に運営できるような財政的保障はされているのか。

質を論じる時に、財政問題を併せた検討が必要。

病児・病後児保育

病児＝急性期の看護のあり方と、病後児（寛解期）の過ごし方は異なる。

実際に病児保育室を利用し、ほとんど休養できていない児がいる。子どもが病気で仕事
が休めない実態は理解できるが、果たして良いのだろうか疑問に思う。

実情からその在り方について問題提起が必要だろう。 保護者や社会への啓発をどのよう
にするかが課題。

一時預かり・緊急一時保育

利用実態から 現行の予約制度を見直す必要があると思われる。

利用者の多くは1・2歳児が多い。 利用実績（延べ人員）参照

利用実績	0歳(人)	1歳(人)	2歳(人)	3歳(人)	4歳(人)	5歳(人)	計(人)
23年 A保育園 (6名定員)	104	620	382	36	30	1	1,173
23年 B保育園 (6月開始10名定員)	198	841	467	62	16	1	1,585
24年 A保育園	42	433	723	61	12	33	1,304
24年 B保育園	272	922	994	95	15	10	2,308
25年 A保育園	72	528	542	64	47	1	1,254
25年 B保育園	152	1,020	847	62	29	8	2,118

一時保育の予約状況と利用実態

26年6月の状況から

10名定員

日	利用人員	予約の状況 他
2 (月)	3	金曜夕方まで 8人予約
3 (火)	6	前日夕方まで 8人予約
4	5	: 7人
5	8	: 9人 入れ替わり 1名
6	6	: 7人
9 (月)	4	金曜午前中 8人夕方まで 6人予約
10	9	前日午前中 10人夕方 8人 当日 1名
11	8	前日夕方まで 10人
12	6	: 夕方 8人
13	7	: 10人
16 (月)	3	金曜夕方 10人 当日朝 6名 当日キャンセル 3名
17	8	前日午前中 10人 夕方 9人
18	5	前日夕方まで 6人 入れ替わり 1名

*とりあえず週 3回予約しているのか、キャンセルや入れ替わりがある

特に月曜日のキャンセルが激しい

予約の段階で良く名前を見るが、実際ほとんど利用実績のない子が数名いる 等

以上